

呉工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	0268		科目区分	一般 / 選択必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	石谷 由美子ほか『Skills for Better Writing : 構造で書く英文エッセイ』(南雲堂), 松岡 昇ほか『Presentation to Go』(センゲージラーニング), 上垣暁雄編著『即戦ゼミ8 大学入試 基礎英語頻出問題総演習【最新四訂版】』(桐原書店)					
担当教員	蒲地 祐子					
到達目標						
1. 効果的なパラグラフ構造を用い, 英語論文構成法を習得する 2. 様々な場面に応じた英語表現を習得し, 実際の英作文・英会話に応用できる 3. 大学入試レベルの英語頻出表現・イディオムを覚える						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	効果的なパラグラフ構造を用いた英語論文構成法を的確に使用できる		効果的なパラグラフ構造を用いた英語論文構成法を使用できる		効果的なパラグラフ構造を用いた英語論文構成法を使用できない	
評価項目2	様々な場面に応じた英語表現を習得し, 実際の英作文・英会話・プレゼンテーションに自在に応用できる		様々な場面に応じた英語表現を習得し, 実際の英作文・英会話・プレゼンテーションにかなり応用できる		様々な場面に応じた英語表現を習得し, 実際の英作文・英会話・プレゼンテーションに応用できない	
評価項目3	大学入試レベルの英語頻出表現・イディオムをほぼ完璧に覚えている		大学入試レベルの英語頻出表現・イディオムをかなり覚えている		大学入試レベルの英語頻出表現・イディオムを覚えられない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)						
教育方法等						
概要	前期においては効果的にパラグラフを構成する方法を学習する。具体的には様々なパラグラフ構造の英文を実際に作文する演習を繰り返す。後期においては, 前期において習得したパラグラフ構成法を用いて, 実際にプレゼンテーションを行う。本授業は進学と就職に関連し, 進路や人間力向上に関連するトピックスを適宜紹介しながらコミュニケーション力を涵養する。					
授業の進め方・方法	テキストを用いた演習を基本とする。所用時間30時間相当の英作文等の課題(10課題程度)を提出してもらい, 評価に7割組み込む。また, 副教材の『即戦ゼミ8 大学入試 基礎英語頻出問題総演習【最新四訂版】』は自学習してもらい, 毎回小テストを行って理解度を試し, 評価にも組み込む。 新型コロナウイルスの感染状況によっては, 遠隔授業に移行し, シラバスに変更が行われることがある。					
注意点	◆英語力の向上には, 日々の努力が不可欠です。課された英作文のレポートは必ず毎週締切日までに提出してください。 締め切りまでに提出できない課題は10パーセント減点します。 ◆辞書は毎回必ず持参して下さい。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	英語論文構成法について概要説明(書式と句読法)を聞く	英語論文構成法の概要を理解することができる		
		2週	Unit 1	理由を述べるパラグラフ構造について学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		3週	Unit2	分析をするパラグラフ構造について学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		4週	Unit3	実験と実験結果について述べるパラグラフ構造について学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		5週	Unit4	賛成・反対意見を併記するパラグラフ構造を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		6週	Unit5	比較・対象を行うパラグラフ構造を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		7週	中間試験			
		8週	テスト返し Unit6	分類するパラグラフ構造を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
	2ndQ	9週	Unit7	指示説明をするパラグラフ展開法を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		10週	Unit8	時間の軸に沿って説明するパラグラフ構造を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		11週	Unit9	因果関係によるパラグラフ展開法を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		12週	Unit10	過程を説明するパラグラフ構造を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		13週	Unit11	説明型のパラグラフ構造を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		14週	Unit12	定義を行うパラグラフ展開法を学び, 実際のパラグラフライティングに活用できる		
		15週	期末試験			

		16週	テスト返し Unit13	統計を説明するパラグラフ構造を学び、実際のパラグラフライティングに活用できる
後期	3rdQ	1週	英語プレゼンテーションの基礎について説明を聞く	英語プレゼンテーションについての基礎を学び理解することができる
		2週	Project 1 自己紹介で自分をアピールする	- 自己紹介を英語で行うことができる - 自分の過去、現在、将来について英語で述べることができる - 自分の興味、性格、長所、短所について英語で説明できる - 自分に関する英語の語彙、表現を使用することができる
		3週	Project 1 自己紹介で自分をアピールする	同上
		4週	Project 1 発表	- 内容と時間からプレゼンテーションを適切に構成することができる - PowerPointの基本操作ができる - スライドに適切なキーワードを入れられる - スライドに写真やイラストを入れられる - 初歩的なプレゼンテーションを実行することができる
		5週	Project 2 ニュースを世界に伝える	- 事実を客観的に英語で述べるができる - ニュースをrewriteし伝えることで、ニュース英語の語彙や表現に主体的に親しむことができる - 国内、海外、芸能・スポーツ、地域、自分の学校のニュースを英語で伝えることができる - グループとして、それぞれの項目を英語でまとめ、つなぐことができる
		6週	Project 2 ニュースを世界に伝える	同上
		7週	Project 2 ニュースを世界に伝える	同上
		8週	中間試験 (Project 2 発表リハーサル)	「情報伝達」のプレゼンテーションができる - グループで原稿、スライド作成などの準備ができる - グループでの発表が円滑にできる (MC, 時間管理) - アニメーションなどを用いて効果的なスライドを作ることができる - 音楽 (BGM) を効果的に使える
	4thQ	9週	Project 2 発表	同上
		10週	Project 4 日本の魅力を世界に紹介する	- 日本の魅力を海外に英語で伝えることができる - そのためのリサーチを英語で行うことができる 「日本」を説明する語彙や表現に慣れ、使用することができる - 楽しいトークが英語でできる
		11週	Project 4 日本の魅力を世界に紹介する	同上
		12週	Project 4 日本の魅力を世界に紹介する	同上
		13週	Project 4 日本の魅力を世界に紹介する	同上
		14週	Project 4 発表リハーサル	「情報伝達」 + 「説得」のプレゼンテーションができる - グループによるプレゼンテーションの準備と発表ができる - グループでの楽しいトークができる - 効果的なスライドを作ることができる (日本的な演出) - 音楽 (BGM) を効果的に使える
		15週	期末試験 (Project 4 発表)	同上
		16週	振り返り	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験・レポート	小テスト	クラス貢献度	合計	
総合評価割合	70	20	10	100	
基礎的能力	70	20	10	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	